

畜産とくづく情報

平成 18 年 8 月 17 日 (第 68 号)
問い合わせ先
長野県庁食の安全・生活衛生チーム
畜産物安全安心ユニット
電話:026-235-7161、Fax:026-232-7288

暑熱対策

夏場の暑熱は、家畜の生産性に大きな影響を与えます。今年は梅雨明けが遅かった分、9月になってもまだまだ暑い日が続く可能性があります。

家畜にとってできるだけ快適な環境を作って、この夏を乗り切りましょう。

以下に、対策のポイントをあげてみます。

畜舎の立地条件、家畜の種類等によって、具体的な対策は変わってきますので、不明な点があれば、家畜保健衛生所へお問い合わせください。

畜舎の対策



直射日光

畜舎の周囲（特に、南面、西面）に落葉樹を植えて日陰を作ったり、ヨシズを張るなどして、畜舎に射し込む直射日光をできるだけ遮りましょう。

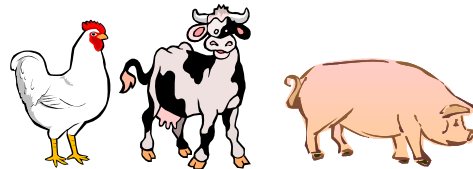
換 気

天窓、地窓、側面の全面開放、ダクト送風及び扇風機送風などにより、換気を十分に行いましょう。

そ の 他

屋根に散水をしたり、工業用石灰を塗布するなどして、焼け込みを防止しましょう。

家畜の対策



給 餌

できるだけ涼しい時間帯に給与するとともに、給与回数を増やすようにしましょう。嗜好性の良い飼料を与えましょう。また、飼料の変敗に注意しましょう。

給 水

冷たくて新鮮な水がいつも飲めるようにしておきましょう。

散 水

畜体への細霧噴霧は有効ですが、換気が悪い場合湿度が上がって逆効果です。

密 度

密飼を防止しましょう。暑さ対策だけでなく、家畜の「イライラ」も防いであげましょう。

そ の 他

交配や移動は涼しい時間帯に行いましょう。

分娩は、ゆったりできる分娩舎を利用しましょう。

畜舎については、太陽が直接当たる屋根の処置が大切です。日光の反射を良くすることから、石灰を屋根に塗布する方法や寒冷紗など、反射シートで覆う方法が有効です。